



左) 韓国の学生との昼食
下) 国立公州大学校 附属学校の見学



お隣の国、韓国での短期留学プログラム

韓国への夏季短期派遣留学プログラムの実現

本学では、7カ国11大学との間で国際交流協定を締結しており、8ヶ月〜1年間の長期派遣留学制度を実施しています。長期留学は、腰を落ち着けて海外の生活に慣れることがらじくりと勉強に励めることがメリットですが、経済的な負担が大きいかことや、所属コースによっては卒業が遅れる等の不安材料もあります。このような理由から、留学に興味があるものの諦めているという学生さんのために、長期休業期間を利用した短期派遣留学制度を検討してきました。

その結果、韓国の2大学への夏季短期派遣留学プログラムが実現可能となり、広く参加募集を呼びかけています。まず、本学と長い交流のある嶺南大学校からは平成20年度より『姉妹大学研修プログラム』への招へいがあり、平成21年に国際交流協定を締結した国立公州大学校では『韓国語・韓国文化短期留学プログラム』韓国語集中コース・韓国教育現場

を行く」に今年度から、本学も参加させてもらえることになりました。双方とも、大変充実したプログラムが組み込まれており、協定校であるがための特典も大きいです。

それぞれのプログラム内容

嶺南大学校の「姉妹大学研修プログラム」は、9日間で構成されており、簡単な語学研修、韓国伝統文化体験、農村体験、ホームステイ等、韓国という国や文化を多方面から学べるスケジュールが組まれています。韓国語を集中して勉強するというよりは、韓国に興味があり、深く知りきっかけにしたいという方にお勧めです。本プログラムは、嶺南大学校からの招へいのため、現地での食事、宿舎、文化体験等の料金は全て先方負担で、参加学生は自宅から釜山空港までの往復移動費と海外保険料のみで参加することが出来ます。ただし、毎年2名までという募集人数の制限があるので、応募者が多数の場合は、別途審査を行います。

国立公州大学校のプログラムは、

2週間で30時間の韓国語授業が組み込まれており、初級・中級・上級のそれぞれの1クラスが10人〜15人で編成されています。語学研修以外にも、韓国文化体験や、ユネスコ世界文化遺産探訪、教育機関訪問などが組み込まれており、韓国語・韓国文化とともに深く集中して学びたいという方にお勧めです。本学の学生は協定校参加費で割安で参加することができ、原則として希望者は全員参加することが出来ます。

【参考】平成22年度の参加費は8万円(自宅からの往復移動費及び海外旅行保険料は別途必要)

短期留学という選択肢

今後、韓国での短期派遣留学プログラムに継続して参加することにも、短期留学の選択肢を増やすことも検討中です。気軽に留学体験をしたい、短期間で集中して語学力を身につけたい、まずは短期留学をしてから長期留学を検討したいなど、様々な活用の仕方がありますので、多くの学生が参加することを望んでいます。

お問い合わせ

学生支援課留学生担当

0742279148

※プログラムの内容・料金は年度により変更されることがあります。



国立博物館の見学



授業の様子



確認テスト



民族村の見学



韓国語講座



嶺南大学校キャンパスツアー

韓国・韓国文化短期留学プログラム 国立公州大学校 体験記



学校教育教員養成課程 言語・社会コース 3回生
井上 明日穂 (奈良県立畷傍高校出身)

私たちは共同スペースとして食堂や洗濯室、PCルーム、フィットネスルームもある大学の寮で生活していました。ほぼ毎日の朝食・昼食は食堂でとっていました。時折、韓国語の授業が終わった後に友人たちと大学周辺のお店へパピンス(フルーツやソフトクリームがのせてあるかき氷)を食べに行ったり、チムチルバン(専用服を着て入る大きなサウナがある銭湯)へ汗をかきに行ったりしました。生活の中で感じる「韓国」も楽しかったです。

韓国語授業だけでなく、公州大学校とソウル教育大学校それぞれの附属学校を訪問させてもらったり、様々な資料館や博物館、世界遺産へ連れて行ってもらったりと、本当に充実した時間を過ごすことができました。

大学生活も後半戦に入った3回生の夏に、ほんの少しですが世界を知ることができました。そろそろ教員採用試験の勉強をしていかなければなりません、色々なことに興味をもち、チャレンジしていく姿勢をこれからもずっと持ち続けたいです。



学校教育教員養成課程 教育・発達基礎コース 2回生
脇 雅仁 (奈良県立奈良高校出身)

今回の短期留学は2週間というとても短い期間ではあったけれども、内容がとても充実していて、僕にとっては何もかも初めての経験ばかりでした。初めての海外、初めての韓国語ということもあって、不安なこともたくさんありました。しかし、そんな不安も授業が始まるとどんどん消えていきました。レベル別にクラス分けされるので、同じレベルの人たちと共に学習でき、先生も日本語を交えながらとても丁寧に教えてくださいました。さすがに2週間では話せるようにはなりませんが、これをきっかけとしてこれからも韓国語を勉強していこうと思いました。僕の場合、韓国に興味を持ったのは、韓国料理がおいしそうだからというとても些細なことからでしたが、何かを始めるには、どんなことでもいいので興味を持つことが大事だと実感した2週間でした。

姉妹大学研修プログラム 嶺南大学校 体験記



学校教育教員養成課程 言語・社会コース 4回生
吉本 結衣 (大阪府立三国丘高校出身)

私は韓国での研修を通して、生涯忘れられない思い出と、一生の友達をたくさん作ることができました。嶺南大学校での9日間は、歴史ある場所の訪問や、伝統楽器であるサムルノリの体験、日本語を専攻している学生との交流、ホームステイなど、一日一日がすごく充実していました。ご飯もすごく美味しかったし、有名な韓国料理は一通り食べることができました。そしてこの研修の一番の魅力は、日本全国の色々な大学から学生が集まること、嶺南大学校の学生がいつも一緒に行動してくれることだと思います。他大学の学生との交流は、とても新鮮で楽しかったです。また、韓国の学生はすごく気さくで明るくて、言葉が通じなくても、英語やジェスチャーで会話することで、とても仲良くなることができました。たった9日間だけど、帰る時に涙が止まらなくなるくらい、深い絆を作ることができました。冬に韓国から友達が会いに来るので、今からすごく楽しみです!!



学校教育教員養成課程 言語・社会コース 4回生
林 里奈 (岐阜県立可児高校出身)

9日間の研修は韓国の歴史や文化、人等多くの魅力に触れることができ、とても充実したものでした。その中で得た「韓国と日本の多くの友人」は私にとって大切な宝です。研修では嶺南大学校と日本全国から集まった学生との交流が充実していました。初めは韓国語がほとんど理解できないため、上手く関われるかどうか不安に感じていました。しかし実際に韓国の学生と会ってみると、同年代ということもありすぐに打ち解け、交流を楽しむことができました。そして文化等を含め、互いを理解し合ったことで仲が深まり、毎日の研修がさらに充実したものとなりました。この研修は私に人とのつながりの大切さ、コミュニケーションの楽しさを改めて気づかせてくれました。今後も嶺南大学校と奈良教育大学の交流がさらに盛んになると良いと感じました。そして今度は私たちが韓国の学生に日本の魅力を伝えていきたいと思いました。